

空間放射線量の測定を実施し、本市は、5月31日に二川小学校、野田幼稚園、福田保育所で実施されています。

測定結果を年間換算した数値で見ると、文部科学省が福島県教育委員会に通知した「福島県

内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方について」で示されている校舎、校庭などを利用する判断基準となる放射線量の暫定値である、年間20ミリシーベルトを想定した1時間当たりの放射線量3・8

マイクロシーベルトを全ての地点で下回りました。

しかし、同省が福島県内の関係機関に通知した「児童生徒等が学校等において受ける線量低減に向けた当面の対応」で示されている「今年度における学校におい

市民の皆さんの声を市政に反映

「清掃工場^{建設}候補地の選定」と「総合計画策定」の委員を公募



市では、集中改革プランに基づき、計画や条例などを策定する際に、皆さんからのご意見を伺う「パブリック・コメント手続」を実施しています。さらに市民参加の機会を充実しようと、昨年8月から

6月16日からは次期総合計画策定に向けた審議会委員を募集中ですが、さらに7月1日からは、新たに新清掃工場建設候補地の選定に向けた審議会の委員を募集します。

各審議会の公募委員の募集期間や人数、担当課などは左表のとおりで、募集案内は各担当課の窓

口と関宿支所、南・北・中央の各出張所で配布するほか、市のホームページからも入手できます。

【応募資格】①平成23年8月1日現在20歳以上で市内に1年以上居住している、②公募

により市のほかの審議会などの委員に就いていない、③市の議員・常勤職員でない方(両審議会への申込は不可)

【応募方法】申込書(任意の書式も可)に表のテーマの小論文(800字程度)を添えて、8月1

日届必着で〒278-8550野田市役所へ担当課名を記載の上郵送か直接持参(インターネットで申請や届出

ができる「ちば電子申請サービス」からの応募も可)なお、申込書と小論文

の提出後、面接を行い、選考結果は応募された方全員に通知します。

■募集期間や人数など

審議会名	募集期間	募集人数	小論文のテーマ	担当課(問合せ)
野田市総合計画審議会	6月16日(木)～8月1日(月)	3人	私の考えるまちづくり	企画調整課
野田市新清掃工場建設候補地選定審議会	7月1日(金)～8月1日(月)	7人	ごみ減量に対する市民の責任と役割について(新清掃工場建設との関連性を含めて)	清掃計画課

て児童生徒等の受ける線量の目標値である年間1ミリシーベルト」これは仮に1時間当たりの放射線量3・8マイクロシーベル

トと同様の算式から計算すると1時間当たりの放射線量0・19マイクロシーベルトになり、東葛6市の全18か所中15か所で、うち野田市では1か所で超過します。

20ミリシーベルトは、問題ありませんでしたが、1ミリをどう判断したらよいか分かりませんので、市民の不安を取り除くため、6月6日付けで文部科学大臣に質問書を提出しています。

質問は3点あり、「今回の測定結果、目標値である年間1ミリシーベルトを超えている時点があるが、市民生活や学校生活は心配なく送れるのかご教示願いたいこと」、「年間1ミリシーベルト以下を目指すとしているが、現時点で超えている場合、市や

学校ではどのような放射線量の低減策を講じたらよいか教えていただきたいこと」、「児童生徒等の受ける線量を考慮する上で、16時間の屋内活動、8時間の屋外活動の生活パターンを想定していますが、実際の幼児や児童生徒の教育活動や帰宅してからの生活実態を考慮すると屋外活動

時間の8時間は長すぎると考えるが、根拠を教示願いたいこと」を現在お願いしています。

なお、文科省への質問書とは別に6月8日に東葛6市で改めて県知事に、継続的に詳細な測定を急いで行うことと、東葛6市により設置する(仮称)東葛地区放射線量対策協議会と同ワーキンググループに参加してもらいたいことをお願いしています。

ただ、県の結論を待っていたのでは時間が掛かるので、東葛6市で、測定結果が比較できるように測定方法を統一した上で、測定を実施するため、専門家の意見を聞きながら、詰めの作業を行っていきます。

なお、市としては、消防署が保有する簡易測定器よりも精度の高い測定器を確保することができたので、今後、県が今回測定した3か所を含め、野田地域6か所、関宿地域3か所の市内9か所で、毎月2回測定して、結果を表をすることを考えています。

測定する高さは、県が実施した地表から1メートルと5センチメートルに加え、地表から5センチメートルも測定していきたいと考えています。